子どもの作文コーナー

どんどやに参加して

四年三組　萩野　由佳

一月十日、一、五町内合同のどんどやがありました。

この日は、風が強く雪もふって寒い一日でした。でも、どんどやのやぐらに火が入ると、寒さをふきとばすように、まっ赤な炎が高く高くもえ上がりました。

しばらくは、みんなが持ちよった正月かざりや書き初めなどが、いきおいよくもえました。ときどき「バァーン」と竹がはじける音がして、ビックリしました。

しばらくすると、火もおさまり、わたし達は竹ざおの先にはりがねで、くくりつけたもちをつるし、火に近づけて焼きました。わたしのおもちは、よく焼けませんでしたが、子供会の方が焼かれたおもちをぜんざいに入れて、食べました。

熱くて甘くて、おいしかったです。わたしは、この後、ぜんざいをつぎわけるお手伝いをしました。

色々な方に、喜んでもらえて、とても楽しかったです。また来年も行きたいです。

楽しいもちつき

五年　近藤　慧太

一月十二日、出仲間公民館でもちつきがありました。

朝早くから公民館の中にテーブルを出したり、外で火をたいたりして準備を手伝いました。そして、いよいよ、もちつきが始まりました。きねは大きくて重いものもあれば、小さくて軽いものもありました。

この日は、お父さんも休みだったので、お父さん、お母さん、ぼくで一緒にもちをつきました。お父さんが力強くもちをつくと、もちが少し飛び散りました。

ぼくは、友達のゆうや君と、とても息が合って、すごく速いリズムでもちをつきました。

女の人のほとんどは中でもちを丸め、男の人は外でもちをついていました。

その日はすごく寒かったので、公民館の中にいるより、外でもち米をむすための火にあたったり、もちをついたりする方が暖かかったです。

最後に、みんなで作ったおもちとおかしをもらいました。とても寒かったけど、とても楽しいもちつきでした。

どんどや

五年四組　入江　薫

一月十日、砂入公園で、どんどやがあった。天気予報で雪マークがついてたので雪が降ると期待していたけれど降らなかったので残念だった。

老人会と自治会の人達がどんどやの準備をしてくれた。お昼前に、おかざりや去年のお守りなどを燃やし始めた。最初はあまり強くなかった火が、後から火の粉が近くに飛んできて、こわかった。その火で焼肉を焼いてくれて皆で食べた。

ぼくの父も焼肉の焼係だったので、「火が熱い、熱い」と言いながら一生けん命焼いてくれた。

母は、子供会で、ぜんざいを作ってくれた。寒かったから食べたら体があたたまった。おいしくて何回もおかわりをする人もいた。

ぼくもつられておかわりをした。とても楽しい一日になった。

田迎の史跡めぐり

シリーズ⑪

放牛地蔵尊

田迎小学校門前にある石仏で、以前は石室はなく、大榎の根元にすえられていたが、榎の根が地蔵を取り囲んでいた。

昭和二十六年に榎が切られて今の石室に安置された。

傍らに説明掲示板が立ててあるが、江戸時代中期、熊本府（今の熊本市）に「放牛」という高僧がいて、享保七年（一七二二）から同十七年まで十一年間にわたり、百体をこえる石仏（百十八体）を建立した。

享保年間の肥後は飢饉や洪水が多く、庶民の生活は困窮を極めていた。

このような人々を力づけ、精神的な救済をはかるため、放牛は自ら願主となり各地に石仏の建立をすすめた。

世に、これを「放牛地仏」と呼んでいる。

この地の石仏は、その第一体目で台座正面に次の願文が刻まれている。

「募化勧力彫刻座像地蔵尊立千道側蓋普大緑同生浄邦」

享保七年壬寅五月放牛

これは、布施の協力を得て、座像地蔵尊を彫刻し、路傍に建立します。

一人残らず極楽浄土に往生しようと言う意味です。

放牛上人は、大願成就の年、享保十七年十一月八日亡くなり、横手町四方池台に葬られた。

〈たむかえ散歩より〉

どんどやの火　無病息災を願う

一月十日、十一日にかけて、田迎校区内では、町内主催のどんどやが行われた。

一・五町内と二町内では消防団の方々によって、大きなやぐらが作られて、午前十時すぎに点火されたとの事である。

三町内では、場所が狭く附近の家の迷惑を考えた竈（かまど）式のどんどやになっていた。

各町内共に子ども会によるぜんざいの用意がなされ参加者はおいしく食べていた。三町内では残り火でバーベキューやかっぽ酒の振る舞いも行われていた。

また、子ども達は残り火にもちを竹でつるし焼いて食し、無病息災を祈っていた。

どんどやに対する考えも変わって来た様で、どんどやを行う意味も忘れかけている風潮がみられる。

五十年前には、町中での一大行事として、どんどやを行い、住民の無病息災を祈っていた。現在、それが少なくなったのは残念である。

あるけあるけ大会で体力づくり

二月十一日㈬　体協主催のあるけあるけ大会が行われた。当日は肌寒い薄曇りの日であった。参加者は九時三十分に田迎小運動場に集合。石原会長挨拶のあと出発した。参加者は七十二名（子供も含む）で東バイパスを東に歩き動植物園に五十分で到着。その時は天気は回復し、晴れとなる。

園内に於いては、全員でビンゴゲームをして楽しむ。

四～五分でビンゴの人、三十分経って、やっとビンゴの人など楽しい雰囲気の中でゲームは終了した。その後は暖かい日差しの中、芝の上で楽しい弁当を食べて、日頃の疲れを取っていた。

編集後記

○一月の新年行事のどんどや等が無事に終り、二月となりましたが、田迎校区内では、風邪が流行しているとの事です。健康には、充分に気をつけて下さい。

○今回のれいすいが二月の発刊となりました事、お詫びいたします。

「れいすい」に掲載する記事がありましたら、御連絡下さい。

○次回の発刊は、五月と考えています。校区住民の皆様のご健康を祈っています。